

越りん

発行所:越谷市倫理法人会
 越りん・HP担当:原田秀一
 越谷市千間台西3-2-1-706
 TEL/FAX 048-977-1556
 事務局 Tel 048-960-2925



中村会長

22年度、最後のMSに感謝の挨拶



吉田氏

『八月二十七日MS』朝霞市倫理法人会、幹事の吉田友紀氏(株マイカー二喜)をお招きし、『遅刻で変わりました』をテーマに、『高校三年の時は、百八回もの遅刻をし、見事に専門学校受験に失敗。三喜とは、①お客様の喜び②社員の喜び③車の喜びです。中古車を息子や娘のように、ピカピカに磨き上げ嫁入りのような気持ちで納車しています。社長の勧め(命令)で、MSに出席し、講話が面白く楽しくなりました。その内に後継者倫理塾(五期

生)に入り、挨拶の基本を徹底的に指導されました。また自己肯定感が大事で自分を磨かなければ部下を指導出来ない。注意の仕方でも、マイナス言葉から入るのではなく、プラス言葉で指導する。途中帰宅した時、妻から倫理の不平・不満を二時間聞き、土下座しながら誠心誠意謝罪。素直な気持ちになれたことが倫理塾の成果です。』と爽やかな笑顔で話され、素晴らしい講話に拍手喝采。今回も三十社三十五名の参加があり心から感謝します。



中村会長

23年度、最初のMSで新たな決意を表明



清水氏

『九月三日MS』新年度最初のMSには埼玉県西北地区長(鶴ヶ島倫理法人会)の清水良一氏(株サンシャイン企画)をお招きし、『倫理経営と会社経営』をテーマに、『講話いただきました。その中で「倫理は良いことを学んでいる会です。普及は大変ですが、大変と思わず自信を持って勧める。九月がスタートで、毎日が普及です。一万円で、月に四回も勉強でき、職場の教養三十冊貰え、仲間が増えて、本当に安い会です。』そして、『日本創生、日本を創り直そうと

する大きな目標に向かい元氣な会にしましょう。倫理を一生懸命にやっていると、身の回りに良い事が帰ってきます。』等、笑顔での体験報告に大変感銘を受けました。出席は、四十八社五十二名。ありがとうございました。

中村猛会長(株新興設備)の挨拶。会長職三年目に入りましたが、反省点が多く自問自答の連続です。最後の一年間、若手を登用し悔いの無いようやり終えたい。全ては会のため基盤作りに明るく楽しく頑張りますと、決意を語る。

【十月の行事予定】

- ◆ モーニング・セミナー
 - ・一日(金) 六時半〜七時半 行田市倫理法人会 会長 川辺 秀夫(尙中央百貨店)
 - ・八日(金) 六時半〜七時半 埼玉県倫理法人会 副事務長 作村 直人(富士産業(株))
 - ・十五日(金) 六時半〜七時半 越谷市倫理法人会 専任幹事 北嶋 敏久(株北陽)
 - ・二十二日(金) 六時半〜七時半 八潮市倫理法人会 会長 佐藤 博信(尙グリーンホームズ)
 - ・二十九日(金) 六時半〜七時半 社団法人 倫理研究所 首都圏方面長 中島 康弘
- ◆ 幹部研修(どなたでも参加可)
 - ・二十八日(木) 十九時〜二十時 会場は南越谷一丁目自治会館 首都圏方面長 中島 康弘
 - ・ 会場 『明朗』

* 参加の声掛けをお願いします。

《九月十日 of MSS》

草加市倫理法人会専任幹

事の竹本幸枝氏(有)コスモカーゴ)を講師にお招きし、『倫理が導いた夢と目標』をテーマに「夫は、毎日、二十四時間、自慢話をします。寝ても覚めても凄い会社だといひ続けます。営業が苦手の私は、売り上げも上がらず失敗だらけでしたが、会社を経営する大きな夢を持っていました。男性には負けたくない、夫にも負けたくない。自宅を購入した運命の日、夫についていく覚悟を決めました。しかし振り返ると自分を見つめていました。その後、「夫が一番で、夫が最優先とするように変わり、ヘソクリまで



鹿児島県与論島出身の竹本氏



新年度役員の前年辞令交付式の様子

正直に伝えたら、夫が変わり、業績が伸び利益も出るようになりました。倫理のお陰と思ひ、また神様にも感謝です。祖父母の会社を再創業するのが今後の夢です。」と感動の体験報告、素晴らしい講話に、心から感謝申し上げます。

《九月十七日 of MSS》

倫理研究所研究センタ

次長の三浦貴史氏を講師にお招きし『繁栄の岐路(わかれみち)』をテーマに「後継者倫理塾では、①月一回の研修の日と、次の研修までの間が大事で、勉強のしどころです。②必ず変化が表れ、自分自身成長しています。③そして、目に見えない価値についてのお話では「アンケート結果①心や感情②家族や家庭③生命や自然、を大切にすることが上位にあり、これを大事にしている会が倫理法人会です。また実践としては自分が良くなる(自分が変わる)②小さいちよとしたことをする③家庭や家族を大切に



熊本出身で6人の子の親、三浦氏



渡辺氏(株アートエンディング)

会員スピーチでは、幹事の渡辺氏が「後継者倫理塾での様子として、自分が洗礼され気持ちが良い。自分が成長する一年になると期待。」そして「富士山に登った時にリーダーによって苦しかったり、楽しかったり違うことを体験。会社にも当てはまります。」と話されました。

《九月二十四日 of MSS》

越谷市倫理法人会、新年度事務

務長に就任されました飯田剛氏(有飯田商会)より『五十一』をテーマに講話をいただきました。始めに「五十一は年齢です」と笑いを誘い、「イギリスで発祥したボイスカウト活動は、良き社会人として成長するよう野外活動を中心とした実践です。長期間の指導を通して、根っこの部分では倫理活動と共通しているように感じます。」と話されました。次に、「教育問題では子ども達の間は濃くて、学校生活を危惧している。教育の再生が必要ですよ。」と熱く語りました。また、尖閣諸島沖の中国漁船衝突問題に話が進むと、険しい表情になりました。最後に、景山民夫氏の著書を愛読しており「どんな人生にも敗北はない」には心を打たれています、と結ばれました。元氣一杯の講話に感謝するとともに、新事務長の、今後益々のご活躍を心からご期待申し上げます。



新事務長に就任された飯田氏



定例総会では全議案が承認され、記念の集合写真です。

《九月二十五日の定例総会》平成二十三年度の総会が、千間台西の松葉船にて開催され、中村体制の三年目がスタート。百三十五社の普及目標達成はもちろんですが、「心を一つに明るく楽しく」と、あらためて決意を表明。